



Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



Weekly report

長井ロータリークラブ会長	尾形 和夫	第2800地区ガバナー	新関 彌一郎
長井ロータリークラブ幹事	遠藤 伴明	第6ブロックガバナー補佐	横澤 寿彦
パストガバナー	渡部 保太郎		
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル Tel.0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 Tel.0238-83-2047	会報委員	長澤修司・齋藤圭央・小野浩二

URL: <http://www.nagai-rc.jp>

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

平成26年2月25日(火曜日) 第2,557回

【月間テーマ】 世界理解月間 <例会報告 NO.30>

★ 2月23日はロータリー創立記念日です

E-mail: info@nagai-rc.jp

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

ゲスト卓話

ファイヤーサイドミーティング

☆会長挨拶(尾形 和夫)



皆さん、こんにちは

本日、米山奨学生サンチャンチュクラムさんと、世話クラブであります米沢ロータリークラブのカウンセラーお二人をゲストとしていらっしゃる予定でしたが、サンチャンチュクラムさんがインフルエンザに罹れたということで、お二人とも欠席となりましたので報告します。

連日テレビ、新聞等で報道されておりました冬季五輪ソチ大会は17日間の全日程を終え、日本時間24日未明に閉会式が行なわれました。日本は海外の冬季五輪で最多のメダル8個を獲得することができたようです。ソチではこの後、五輪に続き3月7日から16日まで、冬季パラリンピックが開催されます。

話しは変わりますが、ロータリーは1905年2月23日にアメリカシカゴで誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブがつつぎつつぎ各地に生まれ、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、2013年7月現在で、クラブ数34,558、会員総数1,220,115人となっております。

ロータリーの目的の中で、ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において、日々奉仕の理念を実践することとあります。

つまり、「奉仕の理想」とは、他人を思いやり、他人のために尽くすとありますが、私は奉仕を行なうことで、自分なりに通じることを得て、これが自分への成長になると思います。それには、例会には出席することだと思っております。

今日は渡部パストガバナーよりミニ卓話と、そして、懇親会を予定しておりますので、会員同士の親睦を深めるとともに、ロータリーについての思いなど語り合っただき有意義な場としたいと思いますので宜しくお願いします。

以上で会長挨拶といたします。

☆幹事報告



ロータリー活動の公共イメージ向上作戦を全国的に展開しています。ロータリー記念日である2/23の10日ほど前からHPを立ち上げると、ロータリー誕生日が映し出されます。

多くのガバナーを増やす会員増強の一因となることを願います。ということでHPをご覧ください。

☆委員会報告

・横澤ガバナー補佐より

地区からの要請。地区のHPを開いたところ、今日にふさわしいものがありましたので印刷しました。ガバナー会のPRのために今回行っているものです。

ロータリークラブがどういったものを行っているのか。

裏面には米山奨学生について、外国の留学生をサポートしている。長井も2.3回経験しています。

日本からも留学生の交換として、長井からも市役所の青木さんがドイツへ行っております。

☆ゲスト卓話 渡辺保太郎 パストガバナー



ロータリー記念日 1905年2月23日

みなさんは記念日にどのように過ごされましたでしょうか。私は、国旗を立てようと思いましたが、孫に「一般的ではないからやめてくれ」と言われあきらめました。

もう一つしたことがあります。それは、自分の兄弟衆に味噌餅を送りました。

故郷を思い出すようにという意味と、ロータリー創立記念日だということを兄弟に話した。

1、ロータリーに参加する効果

本当のロータリアンに成長すること

(例) 田中作次 RI 会長のロータリー会員になった時の感想

「超我の奉仕」を実践して、自分の職業を意義ある事業に高めていくこと。外の人が役に立つことが、人生で最も大切だと思うようになりました。

さらにどんな些細なことでも、人を助けることが大切で、それは平和につながるようになる、と思うようになりました。と。

ロータリーに参加したら人生を替えましょう

2、例会は

- 米山梅吉氏
「ロータリークラブの例会は人生の道場である。」又、「ロータリークラブはロータリー会員の人格を向上される効能がある」
- ビチャイ・ラタクル元 RI 会長 (2002-2003 年度)
わたくしに、ロータリー賞を授けてくださった RI 会長。山形県でロータリー賞を受賞したのは初めて。全国でも珍

しいこと。

「ロータリーは楽しみのための友好クラブではない。慈善組織もない。ロータリーは生活方式を学び、思考態度を学び、心のより所とすることである」と教えられました。

- ・人生の道場とは、道德律と奉仕の理想の促進を鍛えること。
- ・会員の人格向上・・・会員の徳を養い品性の向上を図ること
- ・生活方式とは、超我の奉仕の実践 (家庭・職場・社会・世界)
- ・思考態度・・・「四つのテスト」により「三方よし」を実現する手段。

親睦・・・寛容の心で相対し、相手を尊重しあい、なんでも相談される人

奉仕・・・ロータリーは職業倫理を重んずる職業人と専門職業人の集まりです。世界の隅々まで「超我の奉仕」の心で活動し、多方面にわたって多大の貢献をしています。「最もよく奉仕する者最も多く報いられる」

- ◎超我の奉仕…自我 (利己的欲求) を押さえ、他人 (相手) のことを思い (利他的) 相手の身になって、思いやりの心で尽くすこと (奉仕する)・・・見返りを求めない奉仕・・・奉仕の理想

3、2013年 RI 統計では

退会者の原因は、

1. クラブの人間関係が良好ではない
2. 会長に対する不満 (クラブ運営上)
3. RC 本体の改革がなされず、自分の成長が期待できなさと感じて。

お金集めのロータリークラブになったということで、会員が減少した。勉強不足ということもあったのだが・・・

ロータリーの綱領が目的に変わった。

2013年1月号に詳しく記載されている。

横澤ガバナー補佐が講演した際の資料がわかりやすく記載されていますので是非参照してください。

<在籍年数表彰>

- ・堺 清一 会員 25年
- ・井上 晴雄 会員 16年
- ・横沢 茂 会員 16年

<ニコニコ BOX>

- ・なし

<出席状況報告>

24名/33名 72.7%